

# コロナの教訓

大森弘一郎

これは、日経の新型コロナウイルス感染 世界マップを中国武漢で感染者と認められた一人が出た1月11日から、10週おきにそのマップを並べたものです。世界地図の1点から発生したコロナウイルスが僅か50週間で世界を感染者の赤で染めてしまった。

これは奥地で捕獲してきたコウモリから市場を経由してとか、武漢ウイルス研究所の研究過程から誤って外部に出たとか、その後の隠蔽とWHOの対策ミスがあってとか言われますが。いずれにせよ発展したつもりの人間社会の世界がいかに脆弱か、と言うことを思い知らされることになりました。

これを教訓にして今後何が出来るかです。

次ページは各国の感染者の増加の図です。

その次にあるのはこれの大きさが比較できる同じスケールにしたグラフです、これは3日移動平均で作った図です。

収束の気配のない世界の中から、さらに変異した強いビールズを入れられない安全な東京オリンピックをやる手段は、個人識別とPCR検査による、陽性者発見のみだと思います。

